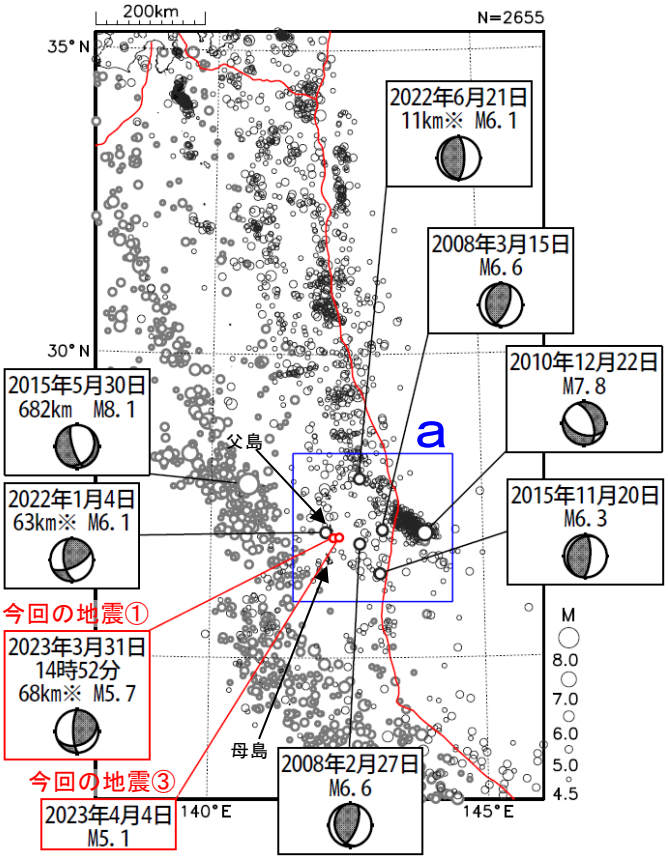
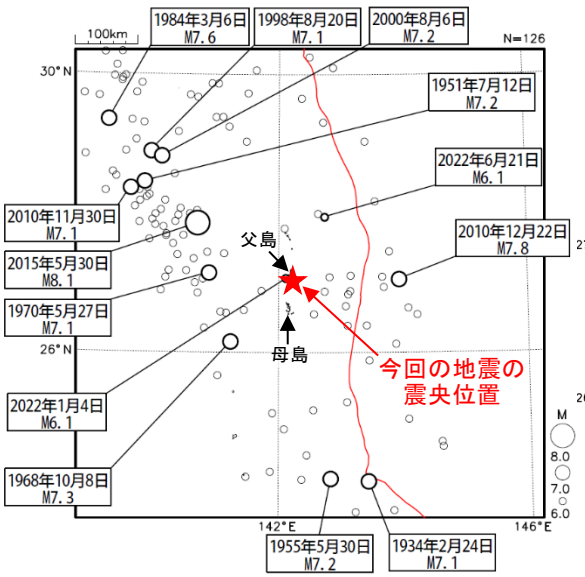
父島近海の地震活動

震央分布図
（1997 年 10 月１日～2023 年４月９日、
深さ０～700km、M≧4.5）
2023 年３月以降の地震を赤く表示
100km より浅い地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



※深さは CMT 解による
赤線は海溝軸を示す。

震央分布図
（1919 年１月１日～2023 年４月９日、
深さ０～700km、M≧6.0）



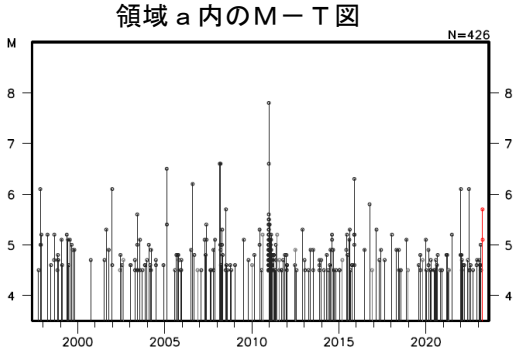
赤線は海溝軸を示す。

父島近海（領域ｂ）では、2023 年３月 31 日から地震活動が活発になり、４月 10 日 08 時までに震度１以上を観測した地震が 14 回（震度３：２回、震度２：２回、震度１：10 回）発生した。このうち最大規模の地震は３月 31 日 14 時 52 分に深さ 68km（CMT 解による）で発生した M5.7 の地震（最大震度２、図中①）である。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

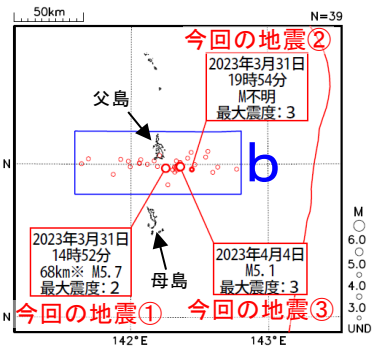
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ａ）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。2010 年 12 月 22 日の M7.8 の地震（最大震度４）では、この地震により津波が発生し、八丈島八重根で 0.5ｍなどの津波を観測した。

1919 年以降の活動をみると、小笠原諸島周辺では、M7.0 以上の地震が時々発生している。2015 年５月 30 日の深さ 682km で発生した M8.1 の地震（最大震度５強）では、この地震により関東地方で軽傷者８人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。また、1984 年３月６日の M7.6 の地震（最大震度４）では、この地震により関東地方を中心に死者１人、負傷者１人などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域ａ内のＭ－Ｔ図

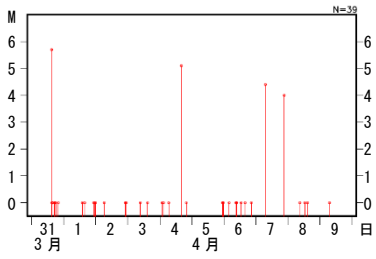
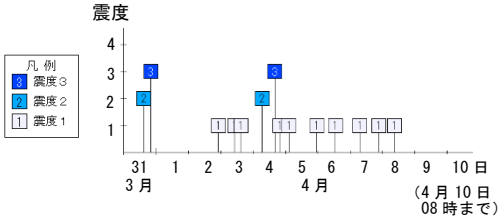


震央分布図
（2023 年３月 31 日～４月９日、
深さ０～700km、M すべて）
M 不明の地震は M＝0 として表示



赤線は海溝軸を示す。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図
M 不明の地震は M＝0 として表示



震度１以上を観測した地震の
発生時系列図
（2023 年３月 31 日～４月 10 日 08 時）